
二級河川芦田川に関する河川整備計画（原案） 及び建設事業再々評価に対する住民意見と対応方針

1. 住民意見の聴取について
2. 河川整備計画に関する意見について
3. 建設事業評価に関する意見
4. 洪水リスク開示に関する意見と回答

1. 住民意見の聴取について

整備計画等の縦覧・意見募集、住民説明会の開催の周知（8月上旬）

大阪府

- ホームページ掲載
- 芦田川改修工事に関する地元説明会時に周知

高石市

- ホームページ掲載
- 「みずからまもろう ふるさと芦田川の会」 ワークショップ委員に案内を郵送
- 高石市内全自治会（52自治会）で周知チラシを回覧
一部の自治会においては周知チラシを各戸配布（2, 407枚）

堺市

- ホームページ掲載

和泉市

- ホームページ掲載
- 広報掲載

和泉市広報

二級河川芦田川水系河川整備計画の縦覧・説明会

府では、和泉市（上代町・小野町・風井町）、高石市、堺市を流域とし、高石市内を流れる二級河川芦田川の今後20年間の川づくりをまとめた「芦田川水系河川整備計画（原案）」に関する資料を縦覧するとともに、流域3市を対象とした合同説明会を行います。

縦覧期間：9月15日（木）まで
場所：道路河川室、府農土木事務所河川砂防グループ
説明会日時：9月9日（金）午後7時～
場所：高石市役所別館3階多目的ホール（高石市加茂4丁目1-1）
定員：100人
※申込は不要。当日、直接会場へ
問：府農土木事務所河川砂防グループ ☎ 072・273・0123

大阪府ホームページ

芦田川水系河川整備計画（原案）等の縦覧及び住民説明会の開催について	
案内番号：0000-7554	
概要	大阪府では、芦田川の今後20年間の川づくりをまとめた「芦田川水系河川整備計画」の策定を進めています。計画策定にあたり、より良い計画とするため、住民の皆様からのご意見を積極的に聞き取り、次のとおり芦田川水系河川整備計画（原案）及び関係資料を縦覧します。なお、次のおしり芦田川水系河川整備計画（原案）及び関係資料を縦覧し、併せて、説明会を開催いたしますので、ご参加のうえ、ご意見を聞かせください。なお、今回の手続きでは、建設事業再評価の手法に基づく関係資料についても縦覧及び説明を行いますので、併せて、ご意見を聞かせください。
縦覧	ご意見のある方は、縦覧期間中に各縦覧場所、ホームページにて配布する意見用紙に記入し、縦覧場所に設置する意見箱に投入いただくか、下記提出先にてFAXかメールにて提出をお願いします。なお、電話による意見の受付は実施していません。
縦覧期間	平成23年8月17日（水曜日）から8月18日（木曜日） （上記期間のうち平日のみ縦覧）
縦覧時間	午前9時から午後5時
縦覧場所	大阪府都市整備部河川室/河川整備課（大阪府庁別館4階：河川室内） 大阪府農土木事務所（東北市民センター2階：中央待合スペース） 大阪府府政情報センター（大阪府庁本館1階） 和泉市役所（3号館2階：道路/河川室内） 堺市役所（1号館：建設局土木部/河川水防課内） 堺市西区役所（4階：市政情報センター） 高石市役所（2階：審議委員会控室内）
ホームページ	大阪府都市整備部河川室 http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/
意見書提出先	〒560-8324 堺市西区鳳東町4丁目380-1 東北市民センター内 大阪府農土木事務所建設課河川砂防グループ TEL:(072)273-0123(代表) FAX:(072)275-1988 メール: otoroboku@box.pref.osaka.lg.jp
説明会	
開催日時	平成23年9月9日（金曜日）午後7時から
会 場	高石市役所 別館3階 多目的ホール （高石市加茂4丁目1-1）
その他	事前の申込は不要ですので、当日会場までお越しください。 開催案内は関係資料の50ページより行います。 駐車場スペースには限りがあります。

1. 住民意見の聴取について

図書の縦覧（8月17日から9月15日までの30日間）

ホームページ・各縦覧場所での図書縦覧

【縦覧図書】

- ◆ 芦田川水系河川整備計画(原案) 本編
- ◆ 芦田川水系河川整備計画(原案) 参考資料
- ◆ 芦田川河川改修事業建設事業再々評価調書

【図書掲載】

- ◆ 大阪府都市整備部河川室ホームページ

【図書縦覧場所】

- ◆ 大阪府府政情報センター
- ◆ 大阪府都市整備部河川室
- ◆ 大阪府鳳土木事務所
- ◆ 堺市役所
- ◆ 堺市西区役所
- ◆ 和泉市役所
- ◆ 高石市役所

住民説明会・メール・FAX・郵送による意見聴取

大阪府ホームページ

二級河川芦田川に関する河川整備計画(原案)及び建設事業再々評価に対する府民意見の募集について

二級河川芦田川に関する河川整備計画(原案)及び建設事業再々評価に対する府民意見の募集について

大阪府では、堺市、和泉市、高石市に流域を持つ二級河川芦田川において、今後、概ね20年間に実施する整備内容を定めた芦田川水系河川整備計画の策定に向け検討を進めております。計画策定にあたり、より良い計画とするため、府民からのご意見を聞かせていただきたく芦田川水系河川整備計画(原案)本編及び参考資料を縦覧します。また、現在事業中の芦田川河川改修事業の建設事業再々評価についても府民からのご意見を聞かせていただきたく再々評価調書を縦覧します。

なお、ご意見については、下記要綱に従い提出をお願いします

1. 募集対象項目

[芦田川水系河川整備計画\(原案\)](#) <本編> <参考資料>

[芦田川河川改修事業建設事業再々評価](#) <再々評価調書> [Wordファイル/78KB] <再々評価調書> [PDFファイル/140KB]

2. 募集期間

平成28年8月17日(水曜日)から平成28年9月15日(木曜日)まで

(募集期間内に必着のこと。なお、郵便の場合は、期間内の消印有効。)

3. 閲覧方法

図書の閲覧状況



1. 住民意見の聴取について

住民説明会

と き：平成23年9月9日（金）
19:00～21:00
ところ：高石市役所 別館3階 多目的ホール
住民説明会参加人数 30名
(高石市在住30名)

説明会開催況



意見募集結果

住民説明会におけるご意見・ご質問・・・18件
FAX・・・3件（ご意見・ご質問 7件）

住民意見の概要

ご意見・ご質問を類似項目ごとに整理

(1) 河川整備計画に関すること（8項目）

- ・治水に関すること
- ・維持管理に関すること
- ・地域連携に関すること など

(2) 建設事業再々評価に関すること（5項目）

- ・事業進捗状況に関すること
- ・事業の完成時期に関すること など

(3) 洪水リスク開示に関すること（4項目）

- ・洪水リスクの周知に関すること など



整備計画（原案）への反映

建設事業再々評価における
意見具申（案）の作成

2. 河川整備計画に関する意見について

河川整備計画に関する意見について

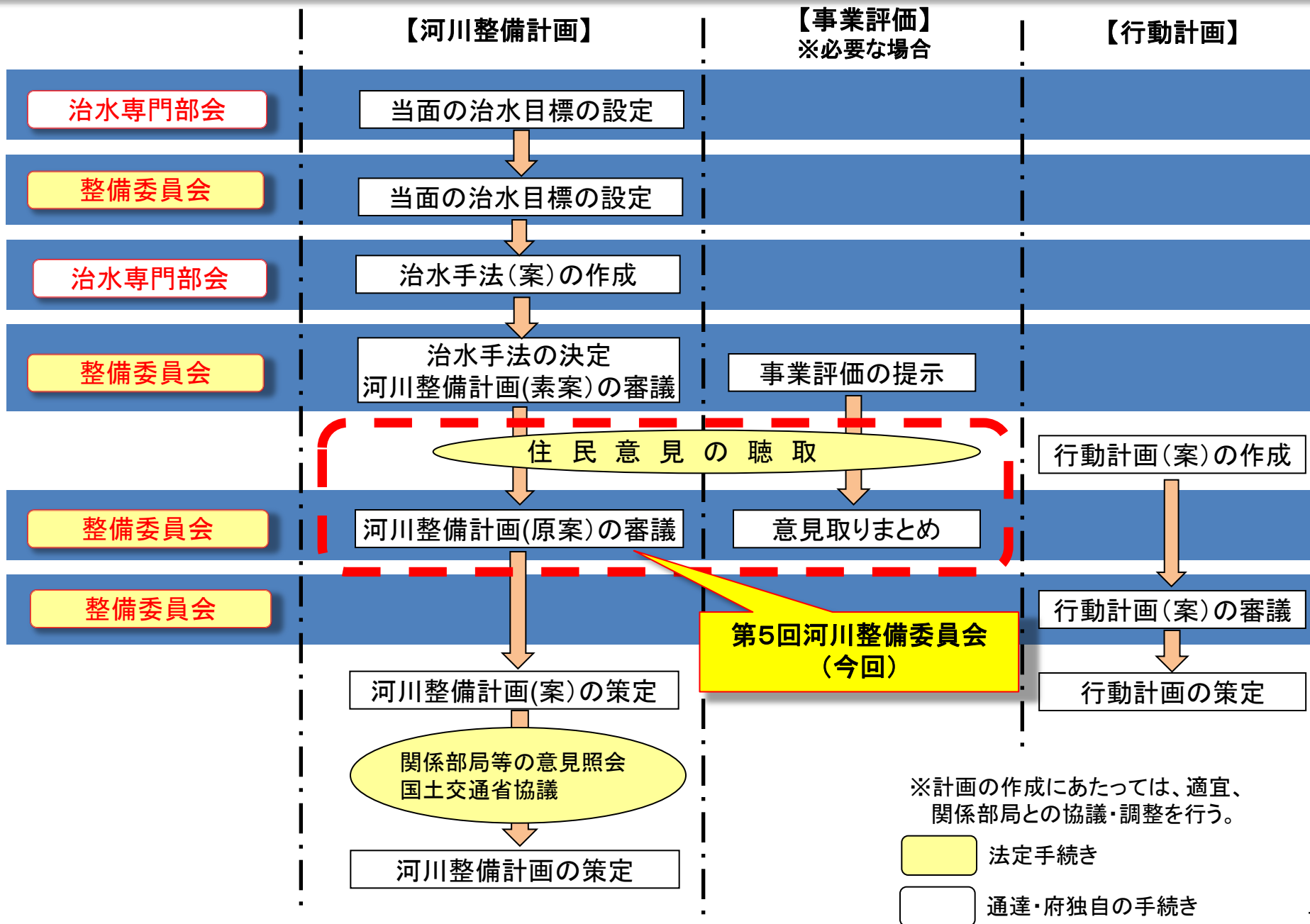
項目	番号	意見の概要	意見への対応	聴取方法	反映有無
治水	1	二層河川区間より下流の河川は細いところが多いため、対策が必要ではないか。	(本編P.5 30行目参照) 川幅が狭く民家が連担している府道堺阪南線から南海本線までの区間の流下能力を高めるため、都市計画道路新村北線の道路下にボックスカルバートを整備し、流下能力を確保しています。	説明会	済
維持管理	2	親水部分の河川の安全管理はどのように考えているのか。	(本編P.8 9行目参照) 芦田川ふるさと広場と隣接した区間では、危険を伴う個所に対して適切な安全対策を行ってまいります。	説明会	済
地域連携	3	芦田川ふるさと広場付近の中央公民館から国道26号までを単なる排水路のような構造にたくない。住民参加できるような取組みができるのか。	(本編P.8 3行目参照) 芦田川では、多自然川づくりなど今後検討する予定であり、設計段階においても地域住民の意見を聞きながら進めていきたいと考えているため、本編P.8 3行目に「地域住民と連携して」を追記します。 【修正案】(下線部追記) 身近な自然環境にふれあえる水辺空間を創出する多自然川づくりを 地域住民と連携して 行うとともに、植生を利用した河川の水質浄化などの取組みを行います。	説明会	有
	4	上流にあるため池において、大雨の前に水を放流してもらい、ため池の貯留量を減らしてもらえば、下流が助かると思う。	(本編P.12 21行目参照) 治水施設による対応には限界があることから、雨が降っても河川に流出する量を減らすための流出抑制に積極的に取り組みます。具体的には、流域における府民等との連携による、ため池や農地における流出抑制機能の活用などについて、今後、検討をしていきます。	説明会	済
その他	5	河川整備計画には、全体的な工事工程表等の説明を添付すべき。	河川整備計画は、今後20～30年の具体的整備内容を定めるものであり、個別工事の工程等を定めるものではないため、具体的な工事工程については、別途工事に関する地元説明会などの際にご確認ください。	FAX	—

2. 河川整備計画に関する意見について

その他の意見について

項目	番号	意見の概要	回 答	聴取方法
計画降雨	1	時間雨量50ミリ、65ミリはどのような雨のことを指すのか。	計画降雨量や雨の降り方を表す波形は、過去に降った雨のデータの確率統計処理により100年に1度の計画降雨波形として決めています。 波形の中で、最も多く雨が降ったピーク雨量・波形を引縮め、50ミリ程度(10年に1度)、65ミリ程度(30年に1度)としております。	説明会
	2	近隣県では計画以上(想定外)の雨がよく降っているが、計画を見直す必要はないのか。	計画降雨量は、過去の降雨データを基に確率統計処理し、1/10年や1/100年などの確率(頻度)で降る雨量を算出しています。 今後、芦田川の河川整備計画を見直す際に、最新の降雨データで現在の計画を精査します。	説明会 FAX
計画高水	3	時間雨量80ミリの雨が満潮時に降った場合、水位はどうなるのか。	洪水時の水位を計算する際は、満潮時の水位を基準に計算しています。	説明会

河川整備計画・建設事業評価の審議の流れ



3. 建設事業評価に関する意見

番号	意見	聴取方法
1	事業進捗状況は、総費用67.7億円に対する進捗なのか。費用は高石市が拠出しているのか。	説明会
2	事業の完成時期はいつまでなのか。	説明会
3	ふるさと広場の二層河川区間まで進むと浸水は助かるが、いつまでかかるのか。	説明会
4	国道26号までを平成30年までに本当に完成できるのか。	説明会
5	中央公民館前から国道26号までの間、何分割かし、業者(数社)に発注し、工事は同時進行できないものか。そうすれば、工事期間は少なくてすむ。	FAX

4. 洪水リスク開示に関する意見と回答

番号	意見の概要	回 答	聴取方法
1	高石市には芦田川と王子川があるため、はん濫解析の結果は、王子川の解析結果も含めて示して欲しい。	王子川のはん濫解析は平成24年度に予定しており、結果が出た段階で説明します。	説明会
2	時間雨量50ミリでも浸水するリスクがあることに驚いている。現在、自宅付近の河川改修工事を行われているが。国道26号まで改修が終わるまでは浸水のリスクを持っておかないといけないのか。	河川整備は着実に行っていきますが、整備途中では計画規模の降雨でも洪水リスクがあることや、整備後でも想定外の降雨による洪水リスクがあることをご理解いただきたい。 そのため、大阪府では洪水リスクを開示することにより、地先の洪水はん濫や浸水の危険性を理解していただき、地域の状況に応じた住民自らの避難対策や避難行動により、洪水被害の低減につなげていただきたいと思います。	説明会
3	情報伝達方法で、携帯電話を持っていない人もいるため、以前、高石市内で使用していた防災スピーカーを活用して欲しい。	現在、高石市において、避難時の勧告・指示などの基準を記した「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を作成しているため、防災スピーカーの活用についての意見を、高石市に伝えておきます。	説明会 FAX
4	現時点で、床下・床上浸水が想定されているのであれば、実際に発生した場合、高石市が補償して欲しい。	ご意見については、高石市へ伝えておきます。	説明会 FAX